Rotary
Club of Fukuoka North
RID2700

ロータリーの
マジック

福岡北ロータリークラブ
2024-25 年度 会長 村口 栄一

## 1. クラブテーマ(目標)：「楽しい例会 笑顔で挨拶 会いたい仲間」

2022 年に当クラブはクラブビジョンを構築しました。

**CLUB VISION**

**メンバーである事に誇りを持ち 学び楽しみ そして奉仕を率先し**
**活力のある 明るく楽しいクラブを目指します**

**昨年度に続き今年度も、このクラブビジョンの達成の為に、クラブが一つになり向っていく事をクラブテーマ(目標)とし、そしてこの達成の為に、目的を持ち以下の活動を計画し実行したいと思います。**

## 2.クラブの活動計画：クラブ定款 第 3 条「クラブの目的」に沿った活動

目的を持った活動とする為に、今年度はクラブ定款第 3 条に沿った活動を計画し実行したいと思います。

クラブ定款 第 3 条に定められた「クラブの目的」は次の 5 項目となります。

**(a)「ロータリーの目的」の達成を目指すこと**
**(b)五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること**
**(c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること**
**(d)ロータリー財団を支援すること**
**(e)クラブレベルを超えたリーダーを育成すること**

我々は入会時に定款・細則を遵守する事を宣言いたしました。故に先ずは基本的なこの 5 項目の「クラブの目的」に沿って計画を立てて活動をしなければならないと考えます。先ず一つ目の **(a)「ロータリーの目的」の達成を目指すこと**については、既にご認識をされていると思いますが、改めて申し上げると、**「ロータリーの目的」**とは クラブ定款 第 5 条に、次のように条項が記載されています。

**「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」**

そして、これについては、当クラブで活動中のロータリー研修会 第 2 回若楠会にて、その時に講師をされた、岩崎先生が講和の中でも取り上げられ、次の通りお話をされました。

**「ロータリーでは、各自の職業を通じての奉仕の理想を目的としています。一言で言えば、事業を営むに際しては奉仕の心をもってやりなさいと言っているのです。**

**ロータリーはロータリアン一人一人が営む自己の職業上の倫理向上に努め、それを基礎として、職業奉仕をすることを目的とする団体であって、ここが唯一他の団体にない特有の理念であって、ロータリーの魅力となっており、約 120 年存続し社会に評価されて来た大きな理由ではないかと思います。」**

このお話に関しては、私個人としても同感致しますし、本年度の活動計画と言うよりも、ロータリアンとして、これを認識した言動を常にしなければならないと思います。

次に、２つ目の

**(b)五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること**については、本年度はクラブの奉仕事業として、次の２つについて取り組みたいと考えています。

**① ロータリー財団地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催**

**【豊かな森は豊かな海を育む】**

森林の林床には落葉をはじめとした有機物が多くあり、これらが微生物により分解されることで豊かな腐葉土が形成されます。雨が降りこの豊かな栄養分が川に流れ込み、いずれは海まで流れていくことで海の環境も豊かになります。里山などの森林環境を整えることは、陸上の環境を豊かにするだけではなく、海まで含めた流域全体の環境を豊かにすることに繋がります。そこで福岡北ＲＣが地区補助金を使って人的支援そして福岡市かなたけの里公園関係者協力の元、一般市民とボーイスカウトをはじめとする青少年を交えて「里山とは何か？」「なぜ里山に人の手を加える必要があるのか？」「人と自然が共存するためにできることは何か？」と言った内容で大人も子供も一緒に学び、体現し自然と共生し循環型で持続可能な社会を構築しながら奉仕活動を実施したいと考えました。

このプロジェクトには我がクラブ会員全員の惜しみない協力が必要となりますのでよろしくお願い申し上げます。

**② ボーイスカウト福岡第 14 団との関わり合いの深化・継続**

ボーイスカウト福岡第 14 団は、当クラブの創立事業として発足させ、長きに渡り支えてきた歴史は、当クラブの青少年奉仕事業の柱です。しかしながら近年の関わり合いは薄く、主としては毎年支援金を手渡し、30 キロハイクでは数名のみの参加、上進式に於いては、育成会の会長・副会長のみの出席となっております。

前年度よりこの関係性を見直す為に、クラブ細則の変更を致しました。具体的には、クラブ細則・第８条委員会の構成と任務　第２節(d)(3)の条項に於いて「公益財団法人ボーイスカウト福岡県連盟　福岡第 14 団に対して、その活動を積極的に支援すると共

に、クラブの会員に対し、理解と関わり合いを深める為に、上進式への参加の呼びかけと、育成会賛助会員への登録のお願い等を推進するものとする。」 と記載しておりますので、今後、BS 育成会の森会長を中心に奉仕プロジェクト委員会と協議を重ねながら、具体的に今年度もこれを進めたいと思います。

次に、３つ目の

**(c)会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること**についてですが

昨年度に続き本年度も**「オープンロータリー(例会)」**を実施したいと考えています。

この理由としては、近年、地区からもこの開催を強く推奨されている事と、これは福岡市内の他クラブの実例で**「オープンロータリー(例会)」**を開催し、その場に 15 名程の入会をさせたいと思う方々を集め、積極的に入会を勧めたところ、その中から一度に 5 名の新会員が加入したとの事です。我がクラブも昨年よりこれに倣い実施したところ 11 名の参加者の内現在、井口会員と池田会員の 2 名が入会されました。今年度も昨年度に参加された方へのフォローと新たに参加したい方を募って新会員の加入促進を目的とした「オープン例会」を開催する予定でございます。

尚、この件の活動主体は、「会員基盤向上委員会」にてお願いしたいと思いますので、委員長を始め、委員各位には率先したご協力をお願いしたいと思います。

次に４つ目の

**(d)ロータリー財団を支援すること**についてですが

昨年度より 5,000 円を増額して年会費請求の際に財団寄付金として 10,000 円とさせて頂いておりますが、当クラブのロータリー財団への年次支援金額は実績としてクラブ平均、2021-22 年度で 104 ドル/人、2022-23 年度で 75.5 ドル/人が現状でございます。

現在 2700 地区から各クラブに対し、支援を要請されている金額は年次基金 150 ドル/人＋ポリオ 30 ドル/人（180 ドル/人×155 円/ドル＝27,900 円/人）であります。

そして、前述のとおりロータリー財団を支援することは、定款に定められているクラブの目的の 1 つとなっています。又、クラブからロータリー財団へ支援した金額は、現在運用されているシェアシステムにより、3 年後にクラブの平均支援金額の 50 倍を上限として、クラブの奉仕事業に利用できる仕組みにもなっております。ロータリー財団については、ご理解いただける方と、そうでない方もいらっしゃいますが、クラブ定款の「クラブの目的」となっている事を認識して頂き、現状をご理解いただけるならば、個人的に少しでもご寄付の追加を協力いただければと切に思っております

これは値上げのお願いではございません。

最後に、

**(e)クラブレベルを超えたリーダーを育成すること**についてですが

これについては、当クラブは、昨年度より「クラブ研修委員会」が発足し、その活動が成長し参加人数も増えております。又、この委員会は　ロータリー研修会「若楠会」部門　と　新会員オリエ

ンテーション部門　の２つの役割を担う委員会としています。
　ロータリー研修会「若楠会」部門は、クラブとして素晴らしいロータリアンを育てることを目的とした「若楠会」の準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としており、新会員オリエンテーション部門は、入会１年未満の会員に対し、オリエンテーションの準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としています。
　特に新会員オリエンテーションに関しては、RI も推奨している通り、絆を深め、活発な会員になってもらう為の大切な機会と考えます。又、調査によると、新会員オリエンテーションを開催しているクラブは、開催していないクラブと比較し、会員維持率が高い事もわかっています。今後、より充実した新会員オリエンテーションを計画・実施し、新会員がロータリアンとしての第一歩をスムーズに踏み出してもらえるようクラブ研修委員会が率先した活動を行って頂きたいと思います。
リーダー育成にもう一つ加えるとするならば地区が推奨する“ＲＬＩの受講”を推奨します
　以上の５項目が、本年度のクラブテーマ(目標)を達成する為の、具体的な活動計画といたします。

　2020 年１月からの新型コロナ影響でこの時期より当クラブに入会された方は例会の開催も儘ならずましてやクラブ独自での奉仕事業は開催が出来ない状況が続き、ロータリーとは何ぞやとお感じになられているかと思います。先ずは例会出席、メーキャップ 100%を目標とし仲間作りを大切にしながらの活動で
　清く、正しく、美しくではありませんが
　“楽しい例会　笑顔で挨拶　会いたい仲間”を合言葉に本年度は活動を進める事が会長職を担う私の使命であると思います。この一年は計画に沿って出来ることを確実に率先して実施して行きたいと思いますので皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。